

# 七高僧

## ⑤

# 善導大師

今月は寺報八月号に続き、七高僧第五祖「善導大師」を紹介したいと思います。

### 善導大師の略歴

善導大師は西暦六一三年、中国の涇州のお生まれと伝えられています。各地を遍歴し、阿弥陀如来の浄土を描いた「西方浄土変相図」をご覧になって、浄土教に帰依されました。

その後、玄忠寺に道綽禅師を訪ねられ弟子とられました。西暦六八一年にお亡くなりになりましたが、念仏を広く民衆に伝え、深く浄土教の教理を極められました。後に法然上人が「ひとえに善導一師に依る(偏依善導)」と言われたほど後世に影響を与え、浄土真宗の教えも善導大師によるところが少なくありません。

### 善導大師の著述・教義の発揮

- 善導大師の著述
- 『観經四帖疏』四巻
- 『観念法門』一巻
- 『法事讃』二巻
- 『往生礼讃』一巻
- 『船舟讃』一巻

### 善導大師の教義の發揮

善導大師は次のような教義の發揮をされました。  
・古今楷定・要弘二門の判  
・別時意会通・六字釈  
・二種深信・二河白道など  
この善導大師の教義について全てはこの紙面ではとても紹介しきれないので古今楷定と別時意会通について紹介します。

まず、古今楷定についてですが、善導大師在世の頃の中国では善導大師以前(これを「古」という)から、善導大師当時(これを「今」という)の『観無量寿經』(以下「観經」という)の解釈について撰論学派をはじめとする聖道門の人々の解釈について誤りがありました。善導大師がその誤りを正し、是非を定められた、これを楷定といい、すなわち、これをして古今楷定といいます。

では、どのような誤りを正されたのでしょうか。当時の『観經』の解釈では釈尊から教えを受けた韋提希夫人は凡夫ではなく菩薩であり、菩薩であるからさとりを開けたというものでした。『観經』を説かれたお釈迦さまの本意は念仏は凡夫のためにあるとす

弥陀如来の浄土にお念仏によって生まれることをお釈迦さまは選ばせたと善導大師はその誤りを正しました。

次に別時意会通について、仏教の救いは願があり行が完成していないと救い(証)は成立しないとされます。撰論学派はお念仏には願はあるが行がないので、『観經』の念仏はすぐに往生が定まったり、すぐに成仏はできない。自力の行が完成するいつかの日に往生が定まり、いつかの日に成仏できるといふ別時意会通という主張をしました。

これに対して善導大師は念仏には阿弥陀さまの願も備わっているので凡夫の救いはお念仏のはたき一つで定まる、すなわち、阿弥陀さまのお喚び声を信じ我が身をおまかせするその時に往生がただちに定まり、命終わるその時にただちに成仏すると撰論学派の別時意会通の誤りを正されました。

善導大師は私たちの力(自力)は必要なくお念仏一つの救いと明らかにされました。

# 法語の世界

〔原 文〕  
蓮如上人 堺の御坊に御座の時 兼著御まあり候。御堂におて卓のゑに御文をおかせられて、一人二人 乃至 五人十人 まゐられ候。人々に対し、御文をよませられ候。その夜 蓮如上人御物語りの時仰せられ候。このあひだ面白きことを思ひだして候。つねに御文を一人なりとも来たらん人にもよませてきかせば、有縁の人は信をとらし。このあひだ面白きことを思案しだしたると、くれぐれ仰せられ候。さて御文肝要の御ことといふよしられ候。ふとこのこと仰せられ候。なり。

(『蓮如上人御一代記聞書 二百七十六』)

### 《現代語訳》

蓮如上人が堺の御坊におられたとき、ご子息の蓮淳さまが訪ねて来られました。上人はそのとき御堂で、机の上に御文章を置いて、一人二人、五人十人と、参詣してきた人々に対して、御文章を読み聞かせておられました。その夜いろいろとお話しながら、あたとくに、上人は、「近ごろ、おもしろいことを思いついた。一人でもお参りの人がいるならば、いつも御文章を読んで聞かせることにしよう。そうすれば、仏法に縁のある人は信心を得るであらう。近ごろ、こんなおもしろいことを考え出したのだ」と、繰返して仰せになりました。蓮淳さまはこのお言葉を聞いて、「御文章が大切であることがますますわかると仰せになりました。」

### 二〇二二年秋季彼岸会法要について

八月号の寺報で秋季彼岸会法要開催のご案内をいたしました。五ヶ瀬町における新型コロナウイルス感染症の感染状況、高千穂町、椎葉村の感染状況を鑑み、彼岸会法要開催を中止することといたしました。よろしくお願いたします。法座はつとめませんが、お彼岸期間中ご自由にお参りください。

### 家庭報恩講(秋参り)の日程について

10月17日までの家庭報恩講(秋参り)のスケジュールをお知らせします。葬儀が入ると変更になります。お茶の接待はご遠慮申し上げます。

10月 8日	椎葉重人 青井秀一 田中聖二 上米良 募
10月11日	吉岡義徳 古小路千壽子 清原信正 青井昭男 森岡 健 馬原二郎 渡邊博仁 甲斐輝光
10月13日	竹森智芽子 唐仁原浅吉 渡邊興雄 長野道広 藤本善人 藤本武久 田中建文 田中正則 土持明美 高村長陽
10月14日	甲斐伊津夫 榎本東洋 梅田ユリ子 秋原孝司 梶原美代 曾我部謙造 藤木浩次 田崎英智
10月17日	甲斐イツ子 田中トメ子 岡本康定 岡 正昭 玉川 誠 岩野秀子 (敬称略)